

# 令和4年石橋北小学校 学校運営協議会議事録

令和4年5月13日(金)14:00

於 校長室

【本日参加者】13名

・学校運営協議会委員(10名)

大塩宗里 國枝勝 野口利男 青柳庄一 竹内美千子 齊藤司朗

菊地未希央 若林裕子 坂本美保校長 安野和美地域連携教員

・地域学校協働活動推進員 橋本俊明

・下野市教育委員会 土田礼巳

・事務局 金久保貴子教頭 増淵敦子教務主任

## 開会

○任命書交付

1 校長あいさつ

2 自己紹介

3 会長選出・組織

会長	大塩宗里		
副会長	野口利男		
環境整備支援部	齊藤司朗		
学習支援部	青柳庄一	大塩宗里	安野和美
図書活動支援部	竹内美千子	若林裕子	
防犯支援部	國枝勝	菊地未希央	

4 協議内容等(進行・・・会長)

校長

(1)石橋北小学校 学校運営協議会運営規程について

・規程の確認(資料を基に説明)

・下野市学校運営協議会運営マニュアルに基づいて、北小の運営規程は作られている。(趣旨、目的の説明)

・地域・家庭と学校との双方向の関係で、「地域とともにある学校」づくりをめざしていく。学校には届いてこない地域の声を委員の皆さんから教えていただきながら協議会を進めていきたい。

会長

・協議会設置の目的(第3条)についてよく読んでください。ポイントは2つである。1つ目は、「地域・家庭及び学校が目標やビジョンを共有し」、2つ目は、「子どもたちを育む『地域とともにある学校』づくりを目指す」である。つまり、学校と一体となって、目標ビジョンを共有して取り組んでいくことであり、決して批判をする組織ではないということを確認しておきたい。

・委員として、学校と保護者・地域と連携を図り、できる限り協力していきたい。

校長

(2)石北小の教育について(学校概要、経営方針)について

【学校目標】:心豊かな子 進んで学ぶ子 健康でたくましい子

【めざす児童像】:豊かな心をもち助け合う子ども

自ら考え進んで学ぶ子ども

明るく健康でたくましい子ども

【重点目標】:

- ・基本的な生活習慣や規範意識を育てると共に、自己有用感や社会性を醸成し豊かな心を育てる。
- ・学びに向かう力の向上を図り、知識・技能を習得し、様々な状況に対応できる思考力・判断力・表現力を育成することによって、確かな学力を育てる。
- ・体力の向上と健康安全の保持増進を図り、健やかな体をつくる。

【石北小の学級数、児童数についての推移】:こここのところ1~2学級である。今年度は、昨年より20名減り、193名スタート。通常学級8学級。特別支援学級2学級。計10学級。4・5年生が2学級である。

【職員】:職員数23名(県費負担職員18名、市費負担職員5名)。

【学校経営方針】:認め合い、励まし合い、助け合う学級を基盤とした学校づくりに努める。学級を基盤として、その学級の集合体が学校である。

【具体策】:1「心の教育の充実」2「確かな学力の定着」3「粘り強く取り組む力の育成」、4番目に土台として「信頼される学校づくり」の推進。

【児童の実態】:素直で思いやりのある児童が多い。何事においても進んで働き、上級生が下級生の面倒をよく見る。学習面でも、真面目に取り組む児童が多く、さらに主体性が備わるとよい。

【とちぎっ子・全国 児童質問紙の結果】:学力も大事だが、児童質問紙を大切にしていきたい。「基本的な生活習慣の形成」が良好であり、家庭の教育力の高さがうかがえる。また、「勉強していて、『不思議だな。なぜだろう。』と感じる」や「疑問に思うことは、分かるまで調べたい。」については、学年によって傾向は違うようだ。「学校の宿題はやりたくなる内容だ」の項目に関しては、否定的な回答が多く、子どもたちにとっては、宿題は、あまりやりたくないということが分かる。今後、検討していく課題である。6年生において、「将来の夢や目標を持っているか」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしているか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」等の質問では、県平均、全国平均を大きく上回る、肯定的な回答であった。

【とちぎっ子・全国 学習状況調査】:「書く力」がどの学年も苦手傾向にあったが、「書く力」の指導に力を入れて取り組んできたところ、徐々に指導の成果が現れてきて、書くことに負担を感じ、苦手意識があった児童が減ってきている。指導の工夫、改善の大切さを改めて感じるころである。また、以前は無回答率が高いことも課題であったが、改善が見られ、児童があきらめずに取り組んでいることが分かる。

【新体力テスト】:本校では、握力に課題があり、どの学年も男女ともに平均を下回っている。筆圧等、日常生活との関連性を感じるころである。

【個別の支援】:個別の支援が必要な児童がいるが、学校生活に適応し、落ち着いて生活できるよう、全職員での共通理解のもと指導している。現在、不登校、登校渋り傾向の児童は見られないが予断は許さないころである。

【家庭・地域の実態】:スクールガードボランティアの活動が、17年目を迎えた。発足当時から携わっていただいている方を含めて、地域の方々に協力していただいている。先日、PTAで、本校は保護者の旗当番(立哨当番)がないが、安全に登下校で

きているのは、スクールガードボランティアのおかげであるということが話題になった。また、その姿を見て、保護者の皆さんがたくさん、朝の登校時に歩いてくださっている。大変有り難いことである。

(以下、パワーポイントの映像を基に説明)

#### 1「心の教育」について

・3A運動の推進(あいさつができる子・あいての気持ちを考えられる子・あきらめずにがんばる子)。

①あいさつ運動:コロナ禍で、声を出しての挨拶指導が難しい状況ではあるが、3A委員会を中心に挨拶日本一を目指して取り組んでいる。子どもたちの挨拶の様子を見ると、下校時の挨拶の方は元気が良いようである。

②レインボー班(縦割り班活動):1年間継続して取り組む班であるため、子どもたちも班の編制を楽しみにしているようである。全校遠足を5月2日に実施(壬生わんぱく公園)。1年生を迎える会を兼ねて行った。行事を通して、高学年の活躍と縦割り班活動の積み重ねが、児童の成長に繋がっている。今年度も、ソーシャルディスタンスを考慮した計画のもと実施したが、児童が協力して頑張る姿がたくさん見られた。特に、話をしないでお弁当を食べる姿は、日頃の給食指導が生かされていて立派であった。来園していた一般の方にも小学校の取組の様子を見ていただけたと思う。

③田植え:今年も地域の小川さんの田んぼを借りて田植えを実施。6年生が1年生に優しく接する姿など、心の成長を感じる場面が見られた。

④花壇作り:環境美化委員会を中心に、各学級で活動を進めている。

⑤オオムラサキの飼育:理科専科教員が、理科教育の取組として進めている。

⑥ふくべ細工:昨年度12月に、委員の青柳さんの協力で、3年生がふくべ細工を教えていただいた。子どもたちは、思い思いの作品作りに挑戦していた。

#### 2「確かな学力の充実」・・・学び合いのよさ

①タブレット端末の活用:本校は、早い時期からタブレットを活用した授業を行ってきた。昨年度から、一人一台導入。

②TT指導:担任が授業を進め、TTとして複数の教員で子どもたちの指導に当たっている。

③学習意欲を高める主体的な学び:子どもたちの話し合いや、学び合いのよさを生かした授業に取り組んでいる。

④GIGAスクール構想を目指して:子どもたちの学びに、タブレットを日常的に活用している。発展的な学習に大変有効である。

⑤「下野市新聞の日」の取組:年間5回実施の予定。下野市児童全員に新聞を配布。児童が新聞に興味をもち、新聞に触れることを大きな目的として進めている。

#### 3「粘り強く取り組む力の育成」

①持久走記録会:昨年度は、1月に実施。練習にもしっかり取り組むことができた。

②あせの日:例年、保護者と一緒に活動している行事であるが、コロナ禍のこの2年間、保護者とは一緒に活動ができていない。今年度も1回目の活動は、縦割り班で除草活動を実施。

③体力作り:スポーツタイム(業間活動)を利用して、計画的に体力づくりを行っている。また、体育の授業の始めに、サーキットトレーニングを体力づくりとして取り入れている。

④食育の授業:石橋中学校の栄養教諭が来校し、食育に関する授業を行っている。

⑤避難訓練:第1回目の訓練は、火災を想定して5月6日に実施。第2回目は、竜巻を想定して5月24日に実施を予定している。

#### 4「信頼される学校づくり」・・・昨年度の取組

- ①スクールガードボランティアの協力：毎日、児童の登下校を見守っている方々の協力を支えられている。花育活動で作った花束を贈呈し、感謝の気持ちを伝えた。
- ②引き渡し訓練：雷、大雨等の災害時に備え、児童の安全確保のため実施した。
- ③避難訓練：火災、地震だけでなく、不審者対応を想定して実施した。
- ④廃品回収：PTA、地域の方の協力で、年間2回実施。地域から回収した資源をドライブスルー方式で、職員が積み降ろしをする形で行っている。
- ⑤職員の研修：授業力向上に向けて、外部講師を招いての研修会を実施している。
- ⑥家庭教育学級：石橋公民館主催で、昨年夏休みに新1年生保護者対象に実施した。

#### 【令和4年度の取組の様子】・・・今日までの取組

- ①新任式、始業式を校庭で実施。
- ②担任発表の様子、学級開きの工夫。
- ③入学式：4月11日実施。委員の皆さんにも出席頂いた。
- ④授業参観：3地区に分けて、一日に3時間実施。
- ⑤ロング昼休み：毎週水曜日の昼休みは、清掃無しのロング昼休み。担任も共に子どもたちと校庭で遊ぶ姿が見られる。
- ⑥1年生の様子：初めての給食、初めての図書室利用の様子。
- ⑦あせの日：縦割り班で校庭除草を実施。4月30日
- ⑧全校遠足：縦割り班で実施。1年生を迎える会も同時に実施。1年生には校歌の歌詞カードをプレゼントした。5月2日
- ⑨避難訓練：1回目は、火災を想定し、避難経路、非常扉、避難場所の確認を行った。
- ⑩田植え：小川さんの田んぼで全校児童が田植えを実施。3・4年生、2・5年生、1・6年生のペア学年で協力して行った。5月11日
- ⑩3年生校外学習：社会科の「土地の使われ方」の学習として、学区巡りを実施。5月12日

会長

#### (3) 質疑

・校長先生から、学校の様子や児童の実態を詳しく説明していただきました。聴いていて、大変うれしい気持ちになりました。教育目標（心豊かな子 進んで学ぶ子 健康でたくましい子）の説明がありましたが、我々が子どもの頃は、一番最初に、体力についての目標が掲げられていたと記憶している。最近では、心についてが一番最初に掲げられている学校があるようで、石橋北小の子どもたちの実態によく合っていると感じる。

・委員の皆さんも、なかなか学校に来る機会が無いかと思うが、感想や質問でもご意見を聞かせてください。また、本日は、道徳教育に堪能な方が参加しているので、ご意見を伺いたいと思います。

指導主事

・市教委で道徳の担当をしています。教科書で学習する中で結びつくのは、やはり豊かな体験活動である。子どもたちが生活の中でちょっとしたことで思いやりの心を育てていくものである。体験活動を充実した経験をしている子どもたちの様子を聴いて、子どもたちが大人になっても子どもの頃に経験したことは、いろいろなところで返ってくるのではないかと思う。

委員

・読み聞かせボランティアをやらせていただいているが、子どもたちはとてもよくお話を聞いてくれる。また、学校がとてもきれいだと感じる。子どもたちの心も良い環境の

中で育まれていると思う。

- 司会 ・本日、早めに到着した。車の中から子どもたちが一生懸命に清掃をしている様子を見ることができた。
- 委員 ・「下野かんぴょうふくべ振興会」として、ふくべを使った伝統工芸細工に取り組ませていただいている。本日も、中学校の美術部の生徒と関わってきたところである。ランプシェードづくりに熱心に取り組む様子に大変感心した。  
・今や、かんぴょうは中国からの輸入が9割を占めている状況である。かんぴょうの普及を通じて日本のよさを子どもたちに伝えていきたい。
- 司会 ・学校運営協議会でも、何か協力できることがあれば声をかけてください。
- 委員 ・スクールガードボランティアをやらせていただいているが、スマートインターチェンジの建設の方は、どのような状況か？
- 校長 ・昨年度、下野市の方が来校し、6年生を対象にスマートインターチェンジについての授業があった。完成の期日はまだ先のような。まずは、子どもたちの安全第一に取り組んでいきたい。調整池の着工が始まった。こちらの方も様子を見ていきたいと思う。
- 委員 ・毎日スクールガードボランティアとして子どもたちに携わっている。安全な横断歩道の歩き方等を話すのが、関心がないのかあまり聞いていないようだ。  
・一緒に歩いていて、子どもたちの会話の内容が最近変わってきているのを感じる。世の中の情勢が容易に入って来るのか、世界情勢の話題などを話している姿を目にすることがある。今の子どもたちは、タブレットなど日常的に使っているのかニュースも身近に入って来るのだと思う。
- 司会 ・北小の樹木がとてもきれいになっている。今年度から委員になられた方もいるので、ご意見を聞かせてください。
- 委員 ・子どもたちには、もっと虫に興味をもってほしい。そして、自然界の共存について考えてほしいと思っている。
- 司会 ・樹木医である委員の方の見方として、大変興味がある意見です。子どもたちにも話す機会があるといいですね。  
・PTAの副会長である委員の方のご意見を聞かせてください。
- 委員 ・4月の授業参観を参観しました。自分たちが子どもの頃は、授業は聞くものだったが、今は、子どもたちが輪になって意見を交わすなど、参加型であることに驚いた。教育のやり方がずいぶん変わってきているのを目の当たりにした。
- 委員 ・デジタル教科書の導入が話題になっているが、活用の仕方はどのようになっているのか？
- 指導主事 ・現在、5・6年生の外国語の教科書で試験的に活用を始めている。従来の紙の教科書のよさとデジタルのよさ等、現場の声を生かして、今後もよりよい取組ができるとよいと思う。

委員 ・先生方の働き方として、もっとゆとりがあるとよいのではと思う。先生方にゆとりがあれば、さらにより教育が行われると思う。

校長 ・教師は、子どもたちの前で常に元気でいたいと思う。

司会 ・先生方と子どもたちが一緒に遊んでいる姿が見られるのは最高ですね。

司会 (4) 承認

・石橋北小学校学校運営協議会運営規程と石橋北小の教育について説明がありました。皆様のご意見を伺っていて、委員の皆さん、異論は無いということで宜しいでしょうか。

委員 ・承認

校長 ・承認していただき有り難うございました。

地域連携  
教員 ・学校のホームページにも議事録を公開する。  
・地域連携だよりの中で、本日の会議について、委員さんの名前を載せてもよいか。

委員 ・承認

教頭 (事務連絡)

・学校運営協議会債権者登録申請書の記入について  
・わんわんパトロール隊について

地域学校  
協働活動  
推進委員 ・地域学校協働活動について：教師の過重労働の改善、学校で抱える複雑で多様化した課題を解決する取組として、地域が学校のパートナーとして、連携協働して地域総ぐるみで教育に当たっていく必要がある。これまでもボランティアとして、関わっていただき大変助かっていましたが、学校教育を支援するといった一方向だけの支援、個別の活動で終わってしまう傾向にあった。これからは、より幅広い地域の方に参画していただき、地域全体で子どもたちの学び、成長を支えていくという考え方で取り組んでいく。そして、地域住民と学校が相互に連携協働して学校づくりをしていく。さらに学校を核とした地域づくりに繋げていくのが地域学校協働活動である。下野市では、学校運営協議会は、5年目になる。皆さんが本日、学校運営に係る協議をされたが、これからは、学校運営に必要な支援とは、また、学校は、どんなことをしてほしいのかをこの場で話し合っただけの結果を地域学校協働活動へと繋げていく機会になっていくとよいと思う。教育行政への意見書の提出であったり、地域住民の方への提案であったりなど、この協議会から地域学校協働活動に繋げていけば地域もますます良くなっていくのではないかと思います。

・公民館の機能として、いろいろな人が集まる場所である。生涯教育のプロフェッショナルの方も集まって来る。そういう機能を生かしながら学校と地域の方との協働体制づくりを助けていきたいと思っている。

教頭 ・学校運営協議会の新たな流れを築いていく話をいただきました。

○次回の予定

・第2回：11月25日(金) 授業参観、協議、(給食試食会→状況によって実施)

・第3回：2月14日(火)

閉会